



横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



「平和への誓い」

学 校 長

暑い長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が響く学校の日常が戻ってきました。

やはり学校の主役は子どもたちであることを実感します。

「昨年度3年生の子どもたちと一緒に折った『折り鶴（千羽鶴）』を広島に届けます。」

と、夏休み前に、ある先生が話していました。

私自身は、途中何度か転校しましたが、広島から小学校時代をスタートしたため、8月6日の「原爆の日」平和祈念式典に特別な思いがあり、黙とうの時報にあわせて目を閉じることを心がけています。

今年は、「平和への誓い」を読み上げた代表の子どもが、私が広島で通った小学校から選ばれていました。

「目を閉じて想像してください。79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。」という冒頭の言葉を聞きながら、時代こそ違え、何とも言えない懐かしさと同時に、幼い時に母と訪れた「広島平和記念資料館」で見た「黒こげの展示品」と「ただただ怖い」と感じた当時の思い出がよみがえってきました。

子どもたちが何気ない日常の中、成長していく姿は、何よりも喜ばしいものです。

しかし、このような平和な日常が当たり前ではないことを、決して私たちは忘れてはならないのだと実感します。

被爆50周年で平成7年に初めて代表の子どもが「平和への誓い」を述べてから約30年間、子どもたちが、平和の大切さを実感し「自分達にもできること」を自分事として捉え、真剣に考え、強い意志で発信する姿に毎年、胸が熱くなります。

平和祈念式典2022年の代表の子どもは、本当の強さは「違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとする」と捉え、平和の基盤となる価値観を私たちに示してくれました。

2023年の代表の子どもは、

「平和とは、争いや戦争がないこと。差別をせず違いを認め合うこと。悪口を言ったり、喧嘩をしたりせず、みんなが笑顔になれること。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと」と、一人ひとりの心遣いや心がけが大切であると、教えてくれました。

そして、2024年（本年度）の代表の子どもは、こう語っています。

「願うだけでは、平和はおとずれません。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。一人ひとりが相手の話をよく聞くこと。「違い」を「よさ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。」

世界の現状を冷静に見つめ、自分たちが行動する強い意志が感じられました。

学校では、日々の授業や活動を通してこれまでも他者への思いやりや、多様性を受け入れる心を育めるよう取り組んできました。

これからは、もっと子どもたちが自分たちの思いで行動したり、学びを深めたりできるよう、職員が一丸となって支援していきます。

